



代表 浅原の挨拶

2024年もあっという間に1カ月が過ぎました。子どもたちも日々成長し、とても嬉しく思います。重症化することは少なくなったようですが、まだまだコロナやインフルエンザなどの感染症が流行しています。引き続き感染症対策に取り組みながら過ごしていきたいと思います。

ちょうど昨年の今頃、小学校で、支援学級の子どものことを交流学級の子どもたちに伝える機会をいただきました。対象は小学1年生で、まだまだ幼さが残る可愛くて、思ったことを素直に口に出してくれる子どもたちでした。日頃から「どうして自分たちは頑張っているのに頑張らないの?」「なんで、すぐ怒って叩いてくるの?」「遊んでいるときに、自分が負けたら、なんで急に怒り出すの?」など、いろいろなことが不思議で、先生に質問をしていたそうです。子どもたちがいろいろなことを尋ねてくれることはとてもいいことで、支援学級の子どもたちのことを理解してもらおうチャンスです。1年生にどうやって伝えようかと考えた結果、客観的に受け取れるものにしよう。内容は、なんとなく似た感じの友達が近くにいる「そうそう!こんなことある!」と思えるようなものにしようと決めました。そして、前もって先生に支援学級の子どもたちのことをお聞きして作ったアニメーションをみながら、お話をさせていただきました。最初に「みんな誰だって失敗はする」という内容、次にいろいろな人の苦手なことやどうしてそんなことをしてしまうのかについて、「自分の思っていることがうまく伝えられないとイライラしてしまうことがあるかもしれない」「負けることが大嫌いで、負けてもだいじょうぶと思うことが難しい人がある」「負けてもだいじょうぶって思えたらいいのにね」「人が嫌な気持ちになることを自分で止められない人がある」「頑張りたいけど頑張れない人がある」「少しずつ、少しずつ頑張れるように応援したいね」などのアニメーションを観てもらいました。最後に「人はみんな、一人ひとり違う」「違っているから、もっとその人のことを知りたくなる」「みなさんに、まわりの人の良いところや好きところを探す名人になってほしい」そして「自分の好きな気持ち、ありがたい気持ち、感謝の気持ちを恥ずかしながらいろいろな人に伝えてほしい」とアニメーションで伝えました。大人に教え込まれるのではなく、自分で感じたことを大切にしてもらいたいという思いでアニメーションを使いました。子どもたちにどんな風に伝わったか、ほんとうのところはわかりませんが、子どもたち一人ひとりの顔を見ていると、こんなことを続けていくことが私たちの役目だと強く感じました。あれから1年、子どもたちに継続したお話ができていない現状があります。これからもこのような機会を作っていけるようなところで理解・啓発活動を進めていきたいと思ひます。

プレイルーム

ケーキセットやアルファベットスポンジ等、色々なおもちゃが少しずつ増えています。新しいおもちゃがあるとすぐに見つけて遊んでいます。私たちが考えないようなものを組み合わせて遊んでいる時があり、驚かされることがありました。



制作

1月は、ダルマや梅の花、コマのちぎり絵をしました。折り紙を小さくちぎり、型に貼れました。ダルマを選ぶ子が多く、いろいろな顔のダルマができていました。



3月のお知らせ

- ・3月13日(水)に、保護者会をします。  
場所：播磨町福祉会館 1階  
時間：10:30 ~ 11:30
- ・3月4日(月)より「春休みの希望調査」の用紙を配布する予定です。締め切りは3月15日(金)を予定しています。
- ・3月22日(金)に、防災訓練を実施する予定です。

土曜デイ

・3月の土曜デイは2日と16日です。



あんこを  
いれたよ!



カードを使って生地を  
切りました。